

対象校No. 692

注1

学校コード F122310106319

注2

変更年度

令和

5年度

認可

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

常葉大学 社会環境学部 社会環境学科

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人常葉大学

令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部企画部企画課

職名・氏名 シチュウ オオシマ ツヨシ
次長・大島 剛

電話番号 054-261-1356（内線：2135）
（夜間）

e-mail hdokikaku@hdo.tokoha.ac.jp

- （注） 1 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。
- 2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、
その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。
例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①社会環境学部社会環境学科	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人常葉大学

(2) 大 学 名

常葉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒422-8581

静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	変 更 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(キミヤ ケンジ) 木宮 健二 (平成14年4月)		
学 長	(エトウ ヒデイチ) 江藤 秀一 (平成29年4月)		
学 部 長	(イシダ アキオ) 石田 明生 (令和5年4月)		
学科長等	(コウモト ヒロコ) 河本 尋子 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考		
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員							
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後						
社会環境学部 社会環境学科 学士（社会環境学）	4 年	100 人	120 人	2年次：2年次 0 人 0 人 3年次：3年次 5 人 0 人 4年次：4年次 0 人 0 人	2年次：2年次 0 人 0 人 3年次：3年次 0 人 0 人 4年次：4年次 0 人 0 人	410 人	480 人	令和5 年度					
対象年度 区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	春季入学以外の学 期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）				
	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期							
A 入学定員	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 120 (-) [-]	人 人 120 (-) [-]							
志願者数	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	1190 (2) [-]	1075 (-) [-]							
受験者数	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	1144 (2) [-]	1061 (-) [-]							
合格者数	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	861 (1) [-]	999 (-) [-]							
B 入学者数	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	人 人 (-) [-]	140 (1) [-]	117 (-) [-]							
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.16	0.97							

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「－」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・ 「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	常 葉 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
教育学部	4	330	-	1320	-	1.13	-	-	-	-					
学校教育課程	4	130	-	520	学士(教育)	1.24	-	令和5	昭和55	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号	令和5年度から入学定員変更（100→130） 令和6年度から名称変更 （初等教育課程→学校教育課程）				
生涯学習学科	4	100	-	400	学士(教育)	0.97	-	令和5	平成10	同上	令和5年度から入学定員変更（80→100）				
生涯学習専攻	4	60	-	240	学士(教育)	0.86	-	令和5	平成10	同上	令和5年度から入学定員変更（50→60）				
生涯スポーツ専攻	4	40	-	160	学士(教育)	1.15	-	令和5	平成24	同上	令和5年度から入学定員変更（30→40）				
心理教育学科	4	100	-	400	学士(教育)	1.14	-	令和5	平成16	同上	令和5年度から入学定員変更（80→100）				
外国語学部	4	220	-	880	-	0.79	-	-	-	-					
英米語学科	4	120	-	480	学士(外国語)	0.79	-	令和5	昭和59	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号	令和5年度から入学定員変更（100→120）				
グローバルコミュニケーション学科	4	100	-	400	学士(外国語)	0.78	-	令和5	平成16	同上	令和5年度から入学定員変更（70→100）				
造形学部	4	100	-	400	-	0.95	-	-	-	-					
造形学科	4	100	-	400	学士(造形)	0.95	-	-	平成14	静岡県静岡市葵区瀬名一丁目22番1号					
法学部	4	200	-	800	-	0.84	-	-	-	-					
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	0.84	-	令和5	平成25	静岡県静岡市葵区水落町1番30号	令和5年度から入学定員変更（160→200）				
健康科学部	4	140	-	560	-	1.04	-	-	-	-					
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.05	-	-	平成25	静岡県静岡市葵区水落町1番30号					
静岡理学療法学科	4	60	-	240	学士(理学療法学)	1.04	-	-	平成25	同上					
経営学部	4	345	-	1380	-	1.14	-	-	-	-					
経営学科	4	345	-	1380	学士(経営学)	1.14	-	令和5	平成25	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号、及び静岡県浜松市北区都田町1230番地	令和5年度から入学定員変更（300→345） 令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
健康プロデュース学部	4	300	-	1200	-	0.83	-	-	平成25	-					
健康栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.87	-	-	-	静岡県浜松市北区都田町1230番地	令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
こども健康学科	4	50	-	200	学士(こども学)	0.38	-	-	平成25	同上	令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
心身マネジメント学科	4	110	-	440	学士(健康学)	0.97	-	-	平成25	同上	令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
健康鍼灸学科	4	30	-	120	学士(鍼灸学)	0.68	-	-	平成25	同上					
健康柔道整復学科	4	30	-	120	学士(柔道整復学)	1.10	-	-	平成25	同上					
保健医療学部	4	80	-	320	-	0.92	-	-	-	-					
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.09	-	-	平成25	静岡県浜松市北区都田町1230番地					
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.75	-	-	平成25	同上					
社会環境学部	4	120	-	480	-	1.02	-	-	-	-					
社会環境学科	4	120	-	480	学士(社会環境学)	1.02	-	令和5	平成25	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号	令和5年度から入学定員変更（100→120） 令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
保育学部	4	160	-	640	-	0.97	-	-	-	-					
保育学科	4	160	-	640	学士(教育学)	0.97	-	-	平成25	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号	令和5年度から3年次編入学定員変更(5→0)				
大学全体	4	1995	-	7980	-	-	-	-	-	-					

大学 の 名 称	常 葉 大 学 短 期 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備考		
日本語日文学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (日本語日本文学)	倍	倍	年度	年度	静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号			
保育科	2	65	-	130		0.71	-	-	昭和41	同上			
音楽科	2	150	-	300	短期大学士 (保育)	0.74	-	-	昭和41				
	2	25	-	50	短期大学士 (音楽)	0.90	-	-	昭和43	静岡県静岡市瀬名一丁目22番1号			
短期大学全体	2	240	-	480	-	-	-	-	-	-			

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年度)	健康プロデュース学部 子ども健康学科の定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項 子ども健康学科は、入学定員50名に対して、令和4年度入学者が19名であったため、相談会やオープンキャンパス（7月から8月の期間に对面で4回実施）の機会に積極的な専願入試への誘導をおこなった。 またホームページ（Webオープンキャンパスの実施）からの情報発信および受験サイトのバナーを活用した広報活動を充実した。さらに隣県（山梨県、長野県）の高校訪問の強化、学長等によるトップセールス、附属3高校と高大連携事業の推進等によって募集活動の充実を図った。 しかし、結果として現れず令和5年度においては、志願者は155名に留まり入学者は16名であった。 この結果を踏まえ定員未充足の是正に向けて、さらに具体的な施策を展開し、募集活動を積極的に進め、定員充足に努めていく。 (5)	履行中 今年度の高校訪問における高校教員の意見や各種進学フェアでの参加者からの聞き取り等を参考に令和6年度の募集活動については、次の①～④について取り組み、募集を強化していく。 ①高校生や保護者に向けて分かりやすい教育方針・体制の明示 ②入学実績のない高校への情報提供の強化 ③高校生を学科主催のイベントに招待し、学科の活動体験を通じた高大連携活動のさらなる推進 ④地域の子どもたちを対象とした「こどもむら」、「キッズオープンキャンパス」等の近隣保育園児との交流の機会を通じた、学科教育の特色の周知強化 また、本学が、各学部・学科の特色ある教育を支援する「とこは未来教育推進事業」に当該学科が取り組む「保育者養成課程における実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完」事業を採択し、地域のこどもたちを対象とした諸事業を財政面で支援し、学科の教育の特色を地域の方々に広く伝えるようにする。 上記に加え、学科名称の変更や入試制度の見直しの検討もはじめ、多面的に対策を施していく予定である。 (5)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	常葉大学の既設学科等（保健医療学部理学療法学科）の収容定員超過の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) 理学療法学科は、入学定員40名に対して、令和6年度の入学者数は、42名と入学定員超過率1.05倍であった。 また、収容定員160名に対して、令和5年度の在籍者は、191名と収容定員超過率1.19倍であったが、令和6年度は在籍者175名、収容定員超過率1.09倍となり、前年度より収容定員超過を抑制することができた。（6）	履行済 令和7年度以降も、令和6年度に引き続き、理学療法学科の入学定員管理を適切に行うことによって、収容定員超過の改善に務めていく。（6）
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	常葉大学の既設学科等（健康プロデュース学部子ども健康学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) 子ども健康学科は、令和6年度入試に向けて、次の①～④について対策を講じた。 ①高校生や保護者に向けて分かりやすい教育方針・体制の明示 ②入学実績のない高校への情報提供の強化 ③高校生を学科主催のイベントに招待し、学科の活動体験を通じた高大連携活動のさらなる推進 ④地域の子どもたちを対象とした「こどもむら」、「キッズオープンキャンパス」等の近隣保育園児との交流の機会を通じた、学科教育の特色の周知強化 また、本学が、各学部・学科の特色ある教育を支援する「とこは未来教育推進事業」を活用し、「保育者養成課程における実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完」事業を実施している。 しかし、入学定員50名に対して、令和6年度の入学者数は、12名と入学定員超過率0.24倍であった。 また、令和5年度は収容定員205名に対して、在籍者89名と収容定員超過率0.43倍であったが、令和6年度は収容定員200名に対して、在籍者77名と収容定員超過率0.38倍に留まり改善することができなかった。 この結果を踏まえて、引き続き募集活動を強化し、収容定員の改善に努めていく。（6）	履行中 「子ども健康学科」の教育内容と学科名称の整合性を図り、ステークホルダーにわかりやすく教育内容を周知することを目的として令和7年4月から「保育健康学科」に学科名称を変更する。（名称変更届出済） また、令和7年度入試から新しい制度として「総合能力入試[リーダー育成型]」「総合能力入試[自己アピール型]」を実施して、入学者増を図る。 さらに、常葉大学の今後の大きな計画として、子ども健康学科が所属する「浜松キャンパス」を浜松市郊外から、利便性の高い浜松市中心部の浜松駅近くに移転することを予定している。 上記の方策を広く周知することによって、学生募集に繋げ、入学定員及び収容定員を充足することに努めていく。（6）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。